

第66回日本PTA全国研究大会新潟大会参加報告

上記大会が、8月24日（金）～25日（土）、新潟県（上越市、燕三条市、長岡市、見附市、柏崎市、佐渡市、南魚沼市、新潟市、新発田市）で開催されました。

「教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神！～新潟に集い、語ろう 未来のひとりづくり～」を大会スローガンに掲げ、次の4点をメインテーマとして分科会等において議論を深めました。

- ①たくましい子どもを育て、命を守るPTA活動
- ②社会の変化に対応し、故郷に誇りを持てる子どもを育てるPTA活動
- ③魅力的な学校づくり、地域づくりとPTA活動
- ④会員のネットワークを広げ、学びを深めるPTA活動

1日目は、7会場での分科会において、基調講演やパネルディスカッション等が行われ、2日目は全体会が行われました。以下、北海道PTA連合会からの参加者の感想を掲載します。

【分科会】

第2分科会(家庭教育)

第2分科会の講演は、麗澤大学の中山学長の「道徳とはまず家庭から」というお話でした。叱られることが多い子どもは自尊心が低くなり、協調性も欠け、犯罪に走る確率が非常に高くなるそうです。親はどうするべきか。自分の価値観を押し付けずに子どもの話に耳を傾け、良い所をできるだけたくさん褒め、親の良い所や幸せな所を子どもに見せることがとても大切なことであり、その次に学校道徳であるという内容でした。

実践発表では、新潟で行っている親子の絆を再確認する活動「親守歌（おやもりうた）」という短歌の取り組みの話でした。県PTA内での協働事業で、テーマが「親子・家族の絆／親・家族への感謝」で、子が親や家族への気持ちを上の句（五・七・五）で詠み、親や家族が下の句（七・七）で返す連歌です。沢山の作品を見聞きしましたが、子どもの気持ちと親の愛情が伝わる素晴らしい取り組みで感動しました。

とても実りある分科会でした。

（会長 萩澤教達）

第3分科会(学校教育)

第3分科会では「先人の知恵を現代の学校教育にどのように生かすか」を研究課題とし、基調講演と実践発表、パネルディスカッションが行われました。分科会開催地である新潟県長岡市は「米百俵の精神」の元となった地であり未来の投資として米を国漢学校設

立資金に充て「人づくり」を優先させた歴史を持つ街であります。長岡市教育長の基調講演や長岡市立阪之上小学校の実践発表ではまさに街が人を作り、人が街を作る事が実践されていました。自分の住む街を知りその歴史や文化に触れ育て大切にし次へ繋いでいく、と言ったところと「米百俵の精神」の旗印があるからこそ何年たってもブレることなく人づくり街づくりが出来ているのだと思いました。

(副会長 干山毅)

第8分科会(健康安全)

私が参加させていただいた第8分科会は、『子どもたちの笑顔、そして命を守るために』～児童生徒の事件や事故への対応と未然防止に向けた取組～を研究課題として、新潟青陵大学題がウイン教授の碓井真史氏による基調講演が行われました。

子供たちの笑顔を守るために大人がすべきことは、過保護になることではなく、なんでもやらせることであり、子供たちが楽しい思いをして笑顔になることが事故やケガの防止につながるといったことや、そのためには学校・保護者・地域・行政が一体となって子供たちを見守り様子を把握することが大切であるという話しが聞けました。

学校や保護者そして地域や行政のつながりの重要性を再認識するとともに、この分科会で見て聞いたことを少しでも自分の地元に反映させていきたいと強く感じました。全国大会に参加させていただいて、大変貴重な経験をすることができましたことに感謝申し上げます。

(副会長 太田啓允)

特2分科会(地域学校協働活動推進のためにPTAが果たす役割)

特別第2分科会は新潟市の朱鷺メッセを会場に、アトラクションの万代太鼓から始まり、基調講演、パネルディスカッション、そして参加者全員(約800名)によるワールド・カフェへと続く、これまでにない形の分科会となりました。基調講演では、文部科学省生涯学習政策局社会教育課・地域学校協働推進室長の西川由香氏が「PTAに期待すること～地域学校協働活動のさらなる推進に向けて～」をテーマに、現在の教育行政の大きな方向性や「コミュニティスクール・地域学校協働活動」の意義とPTAの関係などについて解説されました。これからのPTAは、学校の支援に留まらず、学校を核とした地域コミュニティの再構築に欠かせない存在であると再認識できました。

(顧問 青田基)

【全体会】

25日の全体会は、はじめに歓迎アトラクションがあり、『ダンスプレゼンテーション（CHIBI UNITY）、書パフォーマンスⅠ（長岡市立深沢小学校）、長岡市立旭岡中学校吹奏楽部、書パフォーマンスⅡ（巨大書道ライブパフォーマンス久須美3兄弟、K a i s y u 書・篆刻作家柳澤魁秀）』の4者による出し物が披露されました。

記念講演は、俳優の高橋克美氏にメインキャスターの方が「夢を追いかけつかんだ俳優人生」というテーマのもと色々と質問し、話をしてもらった形で行われました。

高橋克美氏の子どもの頃からの写真を見せていただき、それに基づいて、歴史を振り返りながら、現在のお仕事を行うまでを聞かさせていただきました。

「辛い日々があったのでは？」というMCの問いかけに、「夢を追いかけて、自分が好きなことをするための苦勞なので、辛くはなかった。」とお答えになっていたのが印象的でした。笑いを交えながら、いつも前向きで明るい高橋克美さんの原点はそこにあるのかと感じました。

楽しく、明るく、そして生きるたくましい力が伝わってくる講演で、聞き終えた後はとても優しく幸せな気持ちになりました。